

原油ETF証拠金取引 WEEKLY REPORT

2022/12/12号

マーケットエッジ株式会社 小菅努



【現状確認】



(出所) Refinitivよりマーケットエッジ作成

世界経済の減速懸念を織り込む

NY原油先物相場は、1バレル=71ドル水準まで値下がりし、改めて年初来安値を更新する展開になった。中国で新型コロナウイルス対策の規制緩和が進む中、12月初めには80ドル台前半まで切り返していた。しかし、その後は世界経済の減速懸念にテーマがシフトし、需要不安を織り込む形で一気に値下がりした。また、米石油在庫は原油在庫が減少、石油製品在庫が増加となったが、製品在庫の増加圧力もネガティブ材料視された。

中国経済リスクの軽減が進んだことでファンドの押し目買いが膨らみ始めていたが、そのタイミングで世界経済の減速懸念が急速に高まった。良好な米経済指標を受けて米連邦準備制度理事会（FRB）のインフレ対策の利上げが長期化し、経済がオーバーキル状態に陥るリスクが警戒された。また、複数の米金融機関トップが2023年のリセッション（景気後退）局面入りのリスクに言及したことも、上値圧迫要因になっている。株式相場の軟化で投資家のリスク選好性が後退したこともネガティブ。

米エネルギー情報局（EIA）の米石油在庫（12月2日時点）は、原油が前週比519万バレル減、ガソリンが532万バレル増、石油精製品が616万バレル増となった。

本資料のご利用については、必ず巻末の重要事項（ディスクレーム）をお読み下さい。

原油ETF証拠金取引 WEEKLY REPORT

【展望】

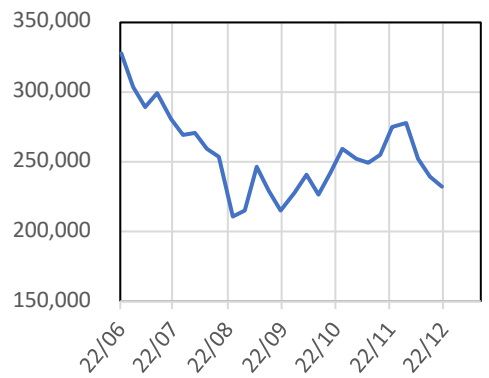
需要リスクが戻り余地を限定、過熱感から自立反発の可能性も

改めて需要不安が上値を圧迫する展開になる。中国政府は新型コロナウイルス対策の新指針を発表し、高リスク地域以外では過度の行動規制を行わない方針を明確化した。実質的なゼロコロナ政策の見直しと言える動きであり、中国経済に対する信頼感が高まっていることはポジティブ。しかし、これと入れ替わる形で世界経済の減速懸念が原油市場の中心テーマとして浮上しており、需要不安を更に織り込む動きがみられると、70ドルの節目を巡る攻防になる。

12月13日に石油輸出国機構（OPEC）、14日に国際エネルギー機関（IEA）月報が発表されるが、ここでの需要見通し下方修正の有無には注意が必要。13～14日の米連邦公開市場委員会（FOMC）でパウエル米連邦準備制度理事会（FRB）議長が景気減速リスクについて踏み込んだ発言を行う、各国経済指標の下振れ、13日発表の11月米消費者物価指数がインフレ懸念を高めるといった動きがみられた際にも、下値不安が強まる。特に株価の上値が圧迫されると、原油市場でも売り安心感が強まる。14日RSIが29.81ポイントまで低下していることで、売られ過ぎ感から修正高が促され易い環境にはなっているが、需要不安が戻り余地を限定する可能性が高い。

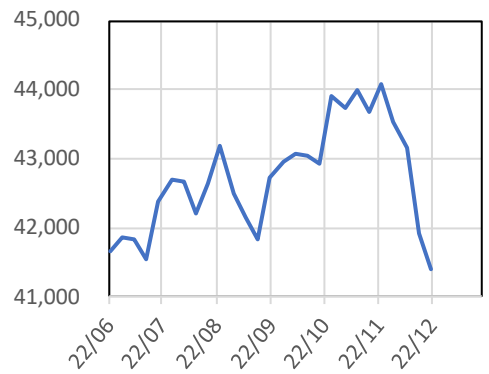
一方、米政府は70ドル割れで戦略石油備蓄（SPR）向けの原油購入を行うことを予告している。SPRが供給項目から需要項目に転換する時期が近付いている。また、OPECプラスは4日の会合で生産枠の据え置きを決めたが、同時に市場の安定に必要とあれば追加減産も辞さない姿勢を鮮明にしている。現行価格では、米シェールオイル生産の鈍化も強く警戒されるため、供給サイドが強い安値抵抗を示すと、下値が固まる可能性はある。

(枚) NY原油先物 大口投機筋ネット建玉



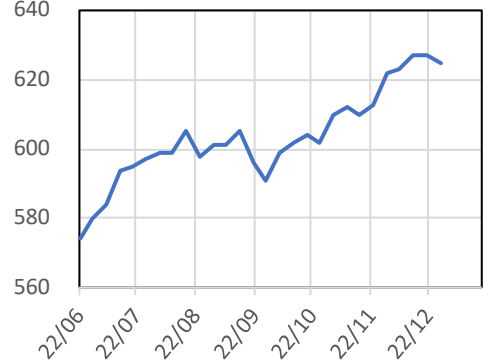
(出所) CFTCよりマーケットエッジ作成

(万バレル) 米原油在庫



(出所) EIAよりマーケットエッジ作成

(基) 米石油リグ稼働数



(出所) Baker Hughesよりマーケットエッジ作成

本資料のご利用については、必ず巻末の重要事項（ディスクレーム）をお読み下さい。

【ディスクレーマー（免責条項）】

本レポートは、本取引所がマーケットエッジ株式会社から提供を受けて、公表しているものであり、本レポートの内容に関する一切の権利は、マーケットエッジ株式会社に帰属いたします。本取引所は、本レポートの正確性、完全性、適時性等を保証するものではありません。また、本取引所は、本レポートを用いて行う一切の行為及び本レポートに基づいて被った損害について、何ら責任を負うものではありません。

株式会社東京金融取引所

本レポートは、マーケットエッジ株式会社（以下、弊社）が、投資判断の参考となる情報提供を目的に作成したものです。金融商品売買の勧誘を目的としたものではありません。投資に関する最終決定は、投資家ご自身の判断で行って下さい。本レポートは、弊社が信頼できると判断した情報源からの情報に基づき作成したのですが、情報の正確性、安全性を保証するものではありません。また、本レポートに記載された見解や予測は、本レポート発行時における弊社の判断であり、全部または一部が予告なしに変更されることがあります。本レポートを使用することに生ずるいかなる種類の損失についても、弊社は責任を負いません。本レポートの著作権は、原則として弊社に帰属いたします。本レポートにおいて提供される情報に関して、弊社の承諾を得ずに、当該情報の複製、販売、表示、配布、公表、修正、頒布または営利目的での利用を行う権利を有しません。

【会社名】 マーケットエッジ株式会社（Marketedge Co., Ltd.）

【所在地】 〒103-0014 東京都中央区日本橋蛸殻町1-18-1（古川ビル4F）

【URL】 <https://www.marketedge.co.jp/>

【電話】 TEL : 03-6661-9498 【E-mail】 info@marketedge.co.jp

小菅努（こすげ・つとむ）プロフィール

1976年千葉県生まれ。筑波大学社会学類卒。商品先物会社の営業本部、ニューヨーク事務所駐在、調査部門責任者を経て、2016年にマーケットエッジ株式会社を設立、代表に就任。金融機関、商社、事業法人、メディア向けのレポート配信、講演、執筆などを行う。

最新情報は
ツイッターで

